

事業名 CD	0103010201	ねたきり老人介護慰労金事務	
細分化した事業名		0	
事業担当課室 CD	200300	福祉課	整理コート*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり
	中項目	地域の絆を深める福祉社会の実現
	小項目	高齢者福祉の充実
関連する個別計画等		根拠条例等 韮崎市在宅ねたきり老人、認知症老人介護慰労金支給条例
関連する事業	0	

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	ねたきり及び認知症高齢者の介護者の労をねぎらうと共に、高齢者の在宅生活を支援する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	4月1日(基準日)において、過去1年間にわたりねたきり高齢者(要介護4又は5に相当する状態の高齢者)、認知症高齢者を在宅にて介護した者。 ※90日を越えるショートステイの利用及び入院がある場合は対象外。 ・過去1年間介護保険サービスの利用あり：年額30,000円 ・過去1年間介護保険サービスの利用なし：年額60,000円
これまでの改善経過	16年度 対象者・支給方法の改正 (～15年度：市ねたきり高齢者・認知症高齢者台帳に登録のある者を対象に民生委員による支給)
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 ○委託 ○補助金 ○その他(0) ・要介護4・5該当者の抽出を行う。 ・口座振替にて介護者へ支給をする。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	被介護者の在宅での生活の継続を促進するとともに、介護者の経済生活を支援する。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度	
A	事業費 (千円)	1,020	1,350	1,290	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	1,020	1,350	1,290	
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.00 0.08	0.00 0.08	0.00 0.08	
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	552	553	546	
D	総事業費(A+C) (千円)	1,572	1,903	1,836	
*参考		H21)市民1人当りの事業コスト	57 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			19 年度	20 年度	21 年度
活動指標	対象者数	(人)	34	44	43
	受給者数 (算出式数値)	(人)	34	44 内6万円1	43 6万なし
成果指標	支給率 (算出式数値)	受給者数/対象者数 (%) (43人/ 43人)	100	100	100
	(算出式数値)				
効率指標	1人当たりのコスト (算出式数値)	総事業費/対象者数 (円) (1,836,000円/43人)	46,235	43,250	42,698

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 介護保険法の要介護状況区分を用いることにより、事業の目的に見合った対象者の抽出が可能になった。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない <input type="checkbox"/> 座振替による支給に改めたことにより、支給の手間が省けた。 <input type="checkbox"/> 対象者抽出方法の改正により、介護保険法との整合性が図れた。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 金額の増減はあっても制度自体は現行のとおり	(2) 23 年度 22 年度の検討結果に基づき事業実施。	(3) 22 年度 近隣市の状況を勘案して増額の可否を検討
	21 年度の改善計画		
21 年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)			
課長所見	在宅介護者の労をねぎらう趣旨から、事業の継続と慰労金の額の検討が必要である。		